

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者[※]の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

心房細動カテーテルアブレーションにおける前向き観察研究

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 （研究責任者）奥村 恭男

＜研究期間＞

承認日 ～ 令和 9 （西暦 2027）年 3 月 31 日

＜対象となる方＞

承認日 ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日の期間に循環器内科で心房細動のカテーテルアブレーションを受けられた方

＜研究の目的＞

心房細動に対するカテーテルアブレーションは標準的な治療となっており、数多くの患者様がカテーテルアブレーションを受けられています。そして、数多くの臨床データが報告されています。しかしながら、昨今、医療機器の進歩により以前報告されてきた心房細動カテーテルアブレーション臨床成績よりも向上してきていることが予想されます。そこで、治療の急性期、慢性期の観察を行い、カテーテルアブレーションの有効性、安全性を再評価します。

＜研究の方法＞

長期間の観察を行い、心房細動の再発率を評価します。また、脳梗塞、重大な出血イベント、心不全による入院率、死亡率を評価します。当院では血液検査、心電図検査、24 時間ホルター心電図検査、心臓超音波検査、心臓 CT/MRI 検査をカテーテルアブレーション前後で施行しています。それらを匿名でデータ化させていただき、今後のカテーテルアブレーションのより良い治療発展のためにお役立てさせていただきたいと考えています。この研究に参加されても、通常診療以上のことは行わないため、この研究に参加されることで不利益はございません。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

患者様自身の情報：既往歴、内服薬

カテーテルアブレーション前後で行う通常診療内での検査：

心電図、胸部 X 線、血液検査、心臓超音波検査、心臓 C R /MRI、カテーテルアブレーションで得た情報を収集します。この研究に参加することで特別な検査は施行致しません。

＜研究を実施する機関組織＞

獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科 准教授 中原志朗

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

循環器内科 氏名：平田萌

電話：03-3972-8111 内線：(PHS) 8939

獨協医科大学埼玉医療センター（〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50）

循環器内科 氏名 中原志朗

電話：048-965-1111

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方